

## 令和5年度第1回部活動地域移行検討委員会次第

日時 令和5年5月26日(金) 午後3時～

場所 豊明中学校 応接室

### 1 あいさつ

### 2 自己紹介

### 3 議題

(1) 令和5年度豊明市部活動地域移行検討委員会設置要綱(案)について 資料1

(2) 部活動地域移行の背景について 資料2

(3) 小中学校における部活動の現状や課題について 資料3

(4) 部活動の地域移行の進め方について 資料4

### 4 その他

令和 5 年度豊明市部活動地域移行検討委員会設置要綱（案）

（目的）

第 1 条 この要綱は、豊明市立小中学校における部活動地域移行について検討するため、豊明市部活動地域移行検討委員会（以下「委員会」という。）の設置について必要な事項を定める。

（検討事項）

第 2 条 委員会は、文部科学省の示す「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」に基づく、小中学校の部活動の地域移行に関する事項とする。

（組織）

第 3 条 委員会は、次に掲げる委員で構成する。

- （1） 中学校長代表
- （2） 小学校長代表
- （3） 中学校教頭代表
- （4） 小学校教頭代表
- （5） 各中学校 PTA 代表
- （6） 小学校 PTA 代表
- （7） 前各号に掲げる者のほか、教育長が必要と認める者

（任期）

第 4 条 委員の任期は令和 6 年 3 月 31 日までとする。

2 委員の交代の必要が生じたときは、委員を補充することができる。

（会議）

第 5 条 委員会は教育長が招集する。

- 2 委員長は中学校長代表を、副委員長は小学校長代表をもって充てる。
- 3 委員長は委員会の議長として会務を行い、副委員長は会長を補佐する。
- 4 委員長に事故あるとき又は欠けたときは、副委員長がその職務を代理する。

（庶務）

第6条 委員会の庶務は、教育委員会で処理する。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、検討委員会の運営について必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、決裁の日から施行する。

# 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革 概要

## 部活動の意義と課題

- ✓ 部活動は、教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会や、多様な生徒が活躍できる場である。
- ✓ 一方、これまで部活動は教師による献身的な勤務の下で成り立ってきたが、休日を含め、長時間勤務の要因であることや、指導経験のない教師にとって多大な負担であるとともに、生徒にとっては望ましい指導を受けられない場合が生じる。
- ✓ 中教審答申や給特法の国会審議において「部活動を学校単位から地域単位の取組とする」旨が指摘されている。

## 持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革が必要

## 改革の方向性

- ◆ **部活動は必ずしも教師が担う必要のない業務であることを踏まえ、部活動改革の第一歩として、休日に教科指導を行わないことと同様に、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築**
- ◆ **部活動の指導を希望する教師は、引き続き休日に指導を行うことができる仕組みを構築**
- ◆ **生徒の活動機会を確保するため、休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境を整備**

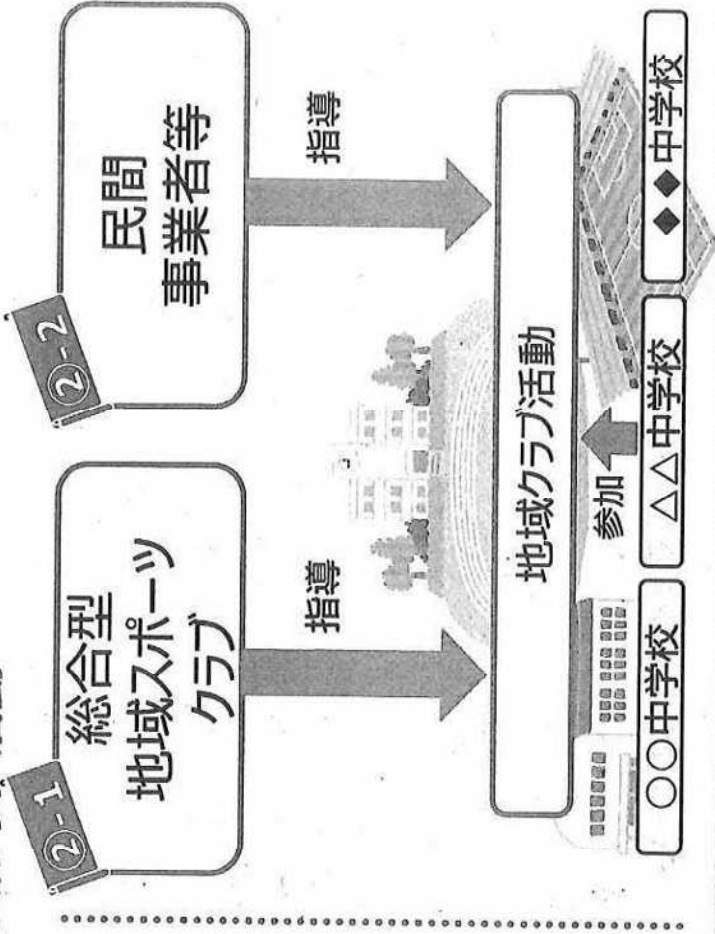
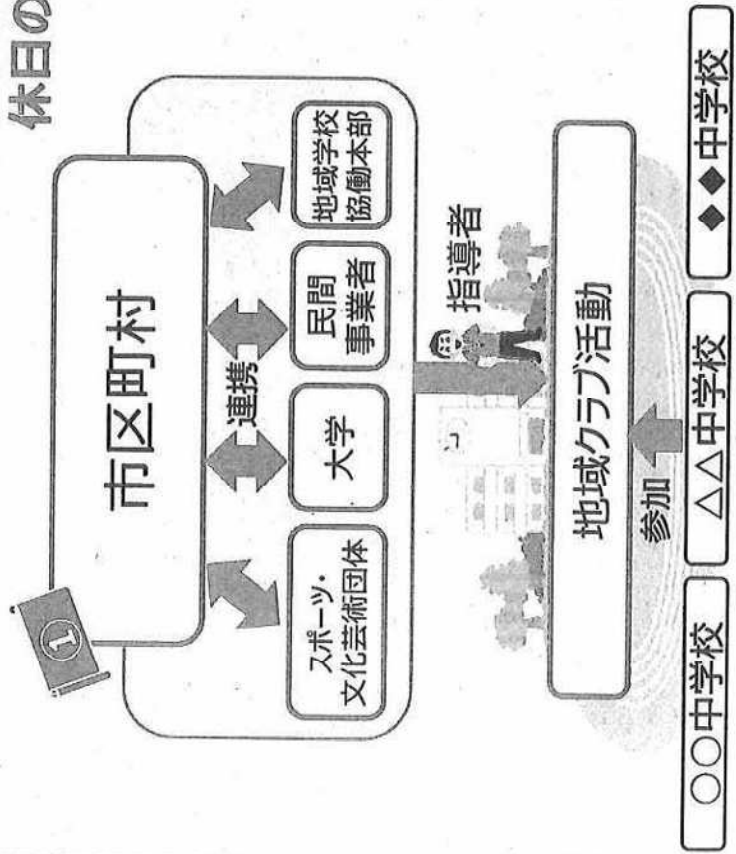
## 具体的な方策

- I. **休日の部活動の段階的な地域移行（令和5年度以降、段階的に実施）**
  - **休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保**  
（育成・マッチングまでの民間人材の活用の仕組みの構築、兼職兼業の仕組みの活用）
  - **保護者による費用負担、地方自治体による減免措置等と国による支援**
  - **拠点校（地域）における実践研究の推進とその成果の全国展開**
- II. **合理的で効率的な部活動の推進**
  - **地域の実情を踏まえ、都市・過疎地域における他校との合同部活動の推進**
  - **地理的制約を越えて、生徒・指導者間のコミュニケーションが可能となるICT活用の推進**
  - **主に地方大会の在り方の整理（実態の把握、参加する大会の精選、大会参加資格の弾力化等）**

※ 以上の取組は、主として中学校を対象とし、高等学校においても同様の考え方を基に取組を実施。

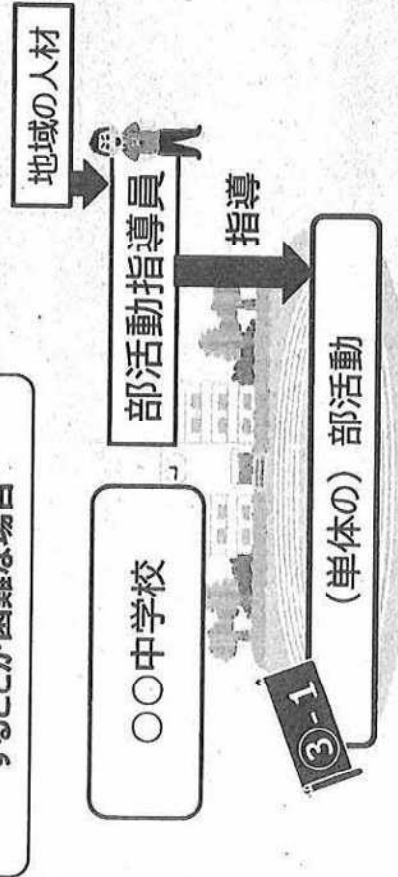
※ 私立学校は、以上に示した公立学校の取組を参考に、教師の負担軽減を考慮した適切な指導体制の構築に取り組むことが望ましい。

# 休日の地域クラブ活動



# 学校部活動の地域連携

※直ちに①②のような体制を整備することが困難な場合



# 豊明市 中学校部活動状況について

資料3

【豊明中】

【栄中】

【啓掛中】

部活動名	部員数			部活動の今後の継続について	部活動名	部員数			部活動の今後の継続について	部活動名	部員数			部活動の今後の継続について
	1年	2年	3年			1年	2年	3年			1年	2年	3年	
野球	3	5	5	XR05 7月に練習予定	野球					野球	16	6	5	
サッカー	11	16	15		サッカー	7	11	4		サッカー	10	12	7	
陸上競技	29	18	13		陸上競技	12	14	14		陸上競技	23	13	7	
剣道	8	5	3		剣道	0	3	3	RO5より募集停止 (RO6置で廃部)	剣道	9	10	4	
柔道	12	10	5		柔道	6	4	6	RO5より募集停止 (RO6置で廃部)	柔道				
テニス男	16	12	21		テニス男	0	0	13	RO5より募集停止 (RO6置で廃部)	テニス男	16	12	12	
テニス女	8	16	12		テニス女	12	15	11		テニス女	14	15	15	
卓球男	9	15	4		卓球男	26	10	6		卓球男	12	25	4	
卓球女	1	11	6		卓球女	10	6	12		卓球女	19	16	5	
バレー男					バレー男	5	10	6		バレー男				
バレー女	4	16	2		バレー女	12	7	12		バレー女	16	6	7	
バスケット男	3	7	6		バスケット男	15	9	10		バスケット男	12	7	3	
バスケット女	1	2	4	XR05 7月に練習予定	バスケット女	7	7	8		バスケット女	2	10	7	
水泳	16	9	2	RS 7月～(季節活動部へ・兼部可)	水泳					水泳				
トレーニング					トレーニング	0	7	12	RO5より募集停止 (RO5、07で廃部)	トレーニング				
駅伝					駅伝					駅伝				
吹奏楽部	12	9	7		吹奏楽部	17	8	16		吹奏楽部	14	10	5	
美術	18	17	17		美術					美術	14	16	16	
科学	13	21	10		科学					科学				
文化					文化	20	20	19	RO5より美術部を吸収 (総合文化部に)	文化				
パソコン					パソコン					パソコン	11	7	9	

テニス...市協会に地域移行の相談中  
 平日の勤務に加え、大会運営や土日の部活動で指導する教員の負担が大きい。  
 休日の休みが欲しい。コーチの方は多く来てくたさってほしい。  
 指導場所問題、用具や費用の問題があるので、指導者確保が難しい。曲運びや、スコアの読み込みなど、指導者の負担が大きい。  
 専門的な知識がないと指導できないので、指導者確保が難しい。曲運びや、スコアの読み込みなど、指導者の負担が大きい。  
 非常勤の先生がボランティアで生徒をみてくれているのでなんとか存続している。美術に遠征の深い人が担当しないと、部としての存続は難しい。  
 地域でのクラブ(野球やサッカー)に入っている生徒が多く、大会に参加できない生徒が多い。

豊明市 小学校部活動状況について

学校名	部活動名	①土曜日（隔週）の実施状況 ○：隔週の土曜日にほぼ実施 △：大会前のみ実施 ×：実施していない	②その他 問題や意見等
豊明小	サッカー	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者不足により、土日の活動で手薄になり、けが対応や指導が不十分。</li> <li>・特殊な種目なので、指導者のなり手がなかなかいない。</li> <li>・サッカーやバスケットボールは大会運営がまわってくるため負担が大きい。審判ができる顧問がいない。</li> <li>・楽器を専門的に指導できる指導者がいない。</li> <li>・休憩時間に指導しなければならない。</li> <li>・楽器の老朽化、産育休、退職等で楽譜を作成できる教員がいなくなる。</li> <li>・カラーガードを指導できる指導者がいない。</li> <li>・部活動の縮小、廃止については、実際に進めていくのか？早く方向性を示してほしい。</li> <li>・道具や設備（ボールの数、体育館の大きさ等）に対して、部員が多すぎるため十分練習できない。</li> <li>・入部を希望する人数が減ってきており、今後継続が困難になりそうである。</li> <li>・顧問一人あたりの部員数が多いので、指導が大変。</li> <li>・土日の顧問の確保が難しい。</li> <li>・地域と連携し移行していきたい。</li> </ul>
	バスケットボール	○	
	金管バンド	×	
	カラーガード	×	
栄小	サッカー	△ 練習試合をまれに行う	
	バスケットボール	△ 大会前の練習試合のみ	
	金管バンド	×	
	カラーガード	×	
中央小	サッカー	○	
	バスケットボール	○	
	金管バンド	×	
杏掛小	サッカー	○	
	バスケットボール	○	
	金管バンド	×	
大宮小	サッカー	○	
	バスケットボール	○	
	金管バンド	×	
	フラッグ部	×	
三郷小	サッカー	○	
	バスケットボール	△	
	金管バンド	×	
館小	サッカー	○	
	バスケットボール	○	
	金管バンド	×	
二村台小	サッカー	○	
	バスケットボール	○	
	金管バンド	×	

# 豊明市 地域クラブ活動調査（市内教員）

部活動の地域移行を進めるにあたり、部活動の顧問をされている先生方へアンケートをとり、今後の参考にさせていただきます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

\* 必須の質問です

1. (必須) \*

今後、部活動を地域指導者に任せることが可能になった場合、あなたは地域指導者に部活動をどのような形で任せますか？A~Dから一つ選んでください。

1つだけマークしてください。

- A 休日のみ任せる
- B 休日も平日も完全に任せる
- C 任せない。(平日も休日も自身で指導する。)
- D その他

2. 1でその他と入力の方は、その内容を入力してください。

\_\_\_\_\_

3. (必須)

1のアンケートでその記号(A~D)を選んだ理由をお書きください。  
(例) 平日ぐらいなら部活動を見ることができそう。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



4. 部活動の地域移行に関して、期待することがあればお書きください。(自由記述)

---

---

---

---

---

5. 部活動の地域移行に関して、心配することがあればお書きください。(自由記述)

---

---

---

---

---

6. 地域の指導者として登録できそうな種目があれば、入力してください。ない場合は空白で構いません。どんな種目でも構いません。(自由記述)  
(例) バドミントン、陶芸

---

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

## 豊明市 部活動調査 (中学校生徒)

部活動の地域移行を進めるにあたり、中学生に「どのような種目（競技）や活動があるとよいか」を調査し、今後の参考にします。

\* 必須の質問です

1. あなたの学年を教えてください。\*

1つだけマークしてください。

1年

2年

3年

2. 今後、部活動を地域移行する上で、「あったらよいな」「あったら入りたいな」と思う種目（競技）や活動を教えてください。（今ある部活動の種目以外）\*

（例）バドミントン、弓道、陶芸など

---

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

## 令和5年度第1回部活動地域移行検討委員会 会議録

日 時 令和5年5月26日（金） 午後3時から午後4時13分

場 所 豊明中学校 応接室

出席者 坂井朋弘委員長、小崎真副委員長、笠原丈子委員、寺田将行委員、小中PTA代表委員

事務局 高木安司教育部長、山田秋男学校支援室長、秋永亘正学校教育課長、相羽敏明生涯学習課長、本田敏倫学校支援室長補佐、神谷一希学校支援室長補佐、花井悟之学校教育課長補佐、青木聖子生涯学習課長補佐

### 議事録（要旨）

#### 1 あいさつ

教育部長 少子化が進む中、また働き方改革の視点も踏まえ、部活動の在り方に問題を抱えています。全体の在り方としては、12月に国からガイドラインが示されており、子ども、保護者ともに関心が高い状況です。皆様からの忌憚のないご意見をいただきたい。

#### 2 自己紹介

委員及び事務局 （自己紹介をなす）

事務局 まだ（案）ですが、この後協議いただく要綱（案）の第5条において、委員長には中学校長代表の坂井先生にお願いしたいと思いますが、ご了承いただけますか。

（拍手）

事務局 ありがとうございます。ここからの議事進行は委員長にお願いします。

#### 3 議題

##### （1）令和5年度豊明市部活動地域移行検討委員会設置要綱（案）について

事務局 （資料1 令和5年度豊明市部活動地域移行検討委員会設置要綱（案）について説明をなす）

この要綱は、令和5年度中限り有効とし、今年度末日を任期としています。検討委員会は、地域移行に関する課題について検討・整理しながら進めていく必要があり、地域移行の在り方が一定程度まとまった時点で終了となるもので、いつまで存続するかは現時点で明確になっていません。そのため、必要となる年度の都度、要綱を新たに制定するものです。したがって、今年度の要綱は一旦今年度で終了し、翌年度も引き続き検討委員会を開催する場合は、令和6年度の要綱として新たに制定することとなります。

この委員会でご承認いただけましたら、本日から施行することとします。

委員長 要綱（案）について、事務局より説明がありました。ご意見やご質問はありますか。

ないようですので、異議なしでよろしいですか。

（はいの声あり）

委員長 要綱（案）については承認されました。

## (2) 部活動地域移行の背景について

事務局 (資料2 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革の概要について説明をなす)  
文部科学省から出された資料であり、背景には少子化問題、働き方改革などがあります。部活動の教育的意義は大変大きく、技術、体力の向上だけでなく、人間関係の形成、責任感や連帯感を育むための有意義な活動だとも示されています。部活動の教育的意義をできるだけ維持しつつ、子どもたちの活躍の場を確保していくために、地域の子どもたちは学校を含めた地域で育てるという意識のもと、持続可能な体制を築いていく必要があります。第一歩として、土日に教員が指導に携わる必要がない環境を構築していくこと、指導を希望する教師は引き続き指導を行うことができるようにすること、そういった方向性が示されています。

委員長 昨年先行的に教職員にアンケートを取りました。結果として、やりたい人の方が少なかった。教員に聞き取りしたところ、子どもたちのためにも平日はやる範囲でやりたいが、休日は厳しいという意見がありました。まず休日からという方向性はあっているのではないかと感じました。

委員 部活動の教育的価値、子どもたちは充実した時間を送っており、将来の人間形成の下地になってきたこと、そういったこととの天秤ではないか。どのように地域に移行するのか。人の枠を作るだけでは済まないと感じている。部活動の地域移行とスポーツクラブを地域で立ち上げるというのでは意味合いが違う。そういったビジョンを持った会になるとよい。

## (3) 小中学校における部活動の現状や課題について

事務局 (資料3 豊明市 小中学校部活動状況について説明をなす)  
各小中学校にアンケートをとった結果です。中学校について、豊明中の野球、バスケ女子、栄中の剣道、柔道、テニス男子、トレーニングは廃部に向けて動いています。1年生の人数でかなり少ない部活動、その学年のみでチーム編成が難しいことが予想される部活動があります。小学校については、サッカー、バスケは隔週土曜日に実施しているところが多くなっています。ここから部員の減少による廃止、また、教員の自発的な活動による部活動が限界にきていることも読み取れます。教員が経験したことのない種目を指導していることもあり、子どもたちにとって望ましい指導が受けられないという可能性もあります。

委員 市全体としての子どもの母数の推移はどうか。

委員 私学に行かれる家庭もあり、わからない部分はあるが、基本的には横ばい。

委員 それほど大きな子どもの増減はないという認識。

委員長 春日井市は進んでおり、1つの中学校である種目を実施するのが難しい場合、複数の中学校で拠点を設けるという発想のようです。資料3を見ると、テニス男子は、極端だが、豊明中が多く、栄中は少ない。こういったところをうまくやれると。協会の方ががんばろうという意識もあると聞いています。

委員 昨年の新1年は2人しか入らなかった。そのうち、1人が休みがちになり、1人ではとなり、ゼロになった。先輩がいればいかというところではなく、横のつながりもほしい。子どもたちの世界のことを考えると、人数が少ないこと

も踏まえて、子どもたちに考えてもらうことも大事だ。教員もカツカツの状態  
でなんとか維持してきた。お休みの代替の方は部活までは難しい。専門じゃな  
い種目を教える先生も多く、あまり教えてあげられないというジレンマもある。  
子どもや保護者からも、ちゃんと教えてもらえると聞いたのに、ということも  
ある。そういったこともあり、できることをできる範囲でやることを子どもた  
ちに説明して、検討してもらった。新1年の入部を停止したため、ほかの部活  
に人数が入って、いいスタートになった部分もある。一方で、入ろうと思った  
部活がなかったという意見もあった。それでも、大会にはこういう形で出るこ  
とができますといった説明をし、提案もしている。部活としては難しくても、  
場所やボールの提供などを含めて、いい形で実施できるといい。

- 委員長 豊明中の野球部は、東郷町の諸輪中と合同練習しています。
- 委員 豊明中は3人で、諸輪中も6人。1人休んだら試合ができないという状況。大  
会には合同で出させていただいた。合同もキーワードになるのでは。
- 委員長 野球部の練習を見ると、いるように見えるが、土日はクラブチームという子も  
いる。
- 委員 野球をやっている子はいっぱいいるが、土日はクラブチームに行ってしまう。  
委員 例えば、サッカー部も少なかったことがあり、1人休むと10人で試合という  
こともあった。練習は5対5が精一杯。11人での練習ができないので、大会  
で結果を残すのは難しい。コロナもあり、練習試合を辞めざるを得なかったこ  
ともある。練習も含めて、試合に出られる最低人数が集まればいいのかという  
ということではない。
- 委員 教員側の実情を伝えさせてほしい。職員全体に部活やってくれる人とは聞いて  
いない。聞けない。全体ではなく、一人ずつに聞いている。子どもの部活動だ  
から早く始めてあげたいが、教員側の準備にも時間がかかる。経験のある先生  
とそうでない先生のギャップもある。部活動の指導を当然と思う先生もいれば、  
小さい子どもが家庭にいるなど気持ちがあってもプライベートとのバランスも  
あり、難しい教員もいる。小さい子どもを置いてというのは、教員のなり手を  
減らしていくことになりかねない。
- 委員 先生側にもっと頑張ってくださいと、そんな厳しいことを思っている父兄はい  
るのかな。身を削って、家庭を削って部活動をやるべきだという考えは世の中  
的にはあり得ない。そういう父兄はいないと思っている。自分がその立場にな  
ったとして、家庭を顧みずに、責任感だけでできるのか。地域移行、形を変え  
てというのは受け入れてもらえるのではないかと思うが、我々の意見だけでは  
なく、アンケートなりで意見を聞いていく方向がよい。
- 委員 部活動に重きを置いている親もいれば、子どもがやりたいことをやらせてあげ  
たいという親もいる。普通に想像すると、次の日の授業の準備をする時間を削  
って大変だなというのが親の気持ち。部活動に重きを置くより、学校生活に重  
きを置いてほしい。部活動での人間形成を重要視していない。部活に入らない  
子は人間形成できないかということそんなことはない。それよりも、授業でも  
とみんなとの関りを増やすような取り組みをしていただいた方がいいと思う。

スポーツに力を入れたい子はクラブチームという選択もある。地域移行するならすればいいが、近隣の小学校とかといっしょにできるような拠点、豊明市にもっとスポーツできる場所があったらよいと思う。

(4) 部活動の地域移行の進め方について

事務局 (資料2 休日の地域クラブ活動、資料4 豊明市地域クラブ活動調査の説明をなす)

いきなり休日の地域クラブ活動を整備することは難しいので、合同部活動や外部指導員を少しずつ増やして移行していくことも可能です。すでに外部コーチに入っただけのところもあるので、豊明市としてはできるところから進めていきたいと考えています。今後子どもたち、教員にアンケートを取る予定で、今学校にある部活をそのまま移行するのではなく、例えばけん玉とか、そういったことも含めて、できるところからと考えています。

委員 豊明市には過去にスポーツクラブをやったというノウハウがある。過去のノウハウを生かせるように検討していることは。

事務局 大きな財産と考えており、反省を生かして、地域移行を進めていきたい。

委員 部活の顧問をやっていたころ、テニス協会がすごく協力してくれて助かった。教員と指導する人が同じ気持ちでできるといいが、意見が合わないこともある。平日部活、土日クラブだったときに、部活の指導方針でやりたいという思いもあった。ちゃんと切り離すことができるのか。どんな方針でやっていくのか、賛同いただけるやり方がいい。

委員 部活の外部コーチに知り合いがいるが、多感な年代の子どもたちの難しさを感じている。学校の先生は教育のプロだが、外部コーチはその道のプロであって教育のプロではない。

事務局 コーチの研修も必要ではないかという声は把握しています。

委員 そもそもこの委員会でいろいろなことを決めていくのか。この委員会の立ち位置、ビジョンは。

事務局 まず背景や国の方向性を承知していただきたかった。地域の状況を踏まえて、いろいろなやり方がある中で、課題を洗い出し、どう解決していくか、そういった場としたい。ホームページにて進捗を公開していきます。

委員長 意思決定機関というより、皆さんの意見を反映させていく場ということです。

委員 委員に3中のPTAはいるが、小学校は全員集まらないのか。

事務局 とりあえず中学校の土日の地域移行という喫緊の課題に対して集まっていたいています。テーマに応じて増やすこともあり得ます。

委員 我々は令和5年度の委員とのことだが、来年度になるとPTA会長が変わる。継続性や積み上げたものはどうか。

事務局 必要な場合は相談させていただき、次の方が残っていただくかは検討します。

委員 中学の生徒たちにはこれから調査することなので、今時の部活、例えばeスポーツとか子どもたちがやりたいことができるといい。土日になった場合、移動の大変さは懸念される。

事務局 送迎も課題と捉えています。

委員 休日だけでなくすことで、先生たちの長時間労働は解決されるのか。  
事務局 かなり改善されると思われます。  
委員 アンケート案に「地域移行を進めるにあたり」とあるが、子どもたちへの説明はあるのか。  
事務局 意図や目的が伝わるように作成します。  
委員 地域によっては市の中心でも行きにくい。剣道など道具を自転車に乗せられないものもある。福祉体育館で実施すると言われても遠いとなる。どこでやってほしいということも検討に入れてほしい。

#### 4 その他

事務局 今回は部活動の地域移行についての背景と進め方の概要について説明させていただきました。第2回は6月くらいに実施したいと考えていますので、日程が決まりましたら、文書にて依頼させていただきます。  
委員長 皆様、本日はお忙しい中ご参加いただきありがとうございました。